

宝塚大橋上の植込みに植えられたバクサス（洋種つげ）で生育しているのではないかと思われる。

なお、前回、報告したもののうち、関西地方で比較的少ないと思われるアトジロキョトウを 1981 年 10 月 28 日に 1 頭採集したほか、現在、関西地方で分布を広げているといわれているニセタマナヤガを 1981 年 6 月 30 日のほか数回、目撃した。

〔参考文献〕

北隆館 原色昆虫大図鑑 I

北隆館 日本昆虫図鑑

兵庫昆虫同好会 きべりはむし 第 9 巻第 2 号

三田市周辺に於けるミスジチョウの分布

広畑政己・近藤伸一

藤岡（1975）によると、本種は北は北海道から南は九州まで広く分布するようであるが、近畿以西では生息地は少なくなり、山地性の種となるようである。

県下に於ても採集記録は少なく、東部地域以外は主として山地からの記録が大半を占め、これまでに発表されているものは、西播地域を除くと十数ヶ所を数えるにすぎない。

県下東部の記録としては、神戸市森林植物園¹¹⁾、東灘区御影町¹²⁾、中央区再度山³⁾、灘区域の下通にある神戸高校付近⁶⁾、宝塚市⁸⁾、川西市東谷¹²⁾、三木市志染町大谷²⁾、三田市乙原¹⁴⁾、氷上郡柏原町⁷⁾などがあり、北部の記録としては、和田山町糸井⁴⁾、出石町名荷谷⁴⁾、大屋町筏⁵⁾、同町若杉⁵⁾、氷ノ山⁵⁾、扇ノ山⁵⁾、豊岡市妙楽寺⁵⁾、同市神武山⁵⁾などが報告されている。また、県下南西部に於ての記録は極めて少なく、上月町久崎²⁾、佐用町若州¹⁰⁾、同町海内¹⁾があるにすぎなかったが、1982年の冬期の調査によって、96ヶ所の新しい産地が見つかった（広畑、佐々木、1982）。

新しく見つかった西播地域での産地は、その大半が山間部の民家の周辺にあり、庭木として植えられたカエデ類を食樹として、点々と広く分布している。このような事例や、これらの産地に於ける平担地からの記録などから判断すると、東部地域に於ても広く分布しているのではないかと考え、この度の越冬幼虫の調査となった。

調査は 1982 年の冬期に三田市を中心に神戸市山田町、淡河町、押部谷町、大沢町、道場町、宝塚市北部、吉川町、三木市など約 60 ヶ所を行った。その結果、後記する 28 ヶ所で越冬幼虫を採集することができた。

越冬幼虫は、西播地域同様民家の庭やその周辺に生育するカエデ類から見いだされた。食樹の種名は定かではないが、園芸種のシダレモミジの類からイロハモミジと思われる種までかなり多種のカエデ類に依存している。しかし、1本の木で確認できる幼虫の数は少なく1頭から5頭で、その多くは1～2頭であった。吐糸で枝に葉柄を固定しているものの多くに幼虫が見られるが、葉柄が固定されていて台座のあとがあっても幼虫がいない場合もある。これは鳥などの天敵によって食べられたものと考えられる。また、越冬幼虫を持ち帰り、庭のカエデに葉を結びつけておくと、低温下にもかかわらず巣の修理をしてもとの位置に静止しているが、ある日突然多数の幼虫が、何かに食べられたのかいなくなったこともあるので、今回発見した産地でも、天敵に遭遇することなく成虫までになって、我々の目にふれるのは、極くわずかになってしまうものと思われる。ともかくこの度の調査で発見した産地とその他に判明した記録を併せて報告しておく。

尚、採集者の明記していないものは、筆者両名の採集したものである。

〈採集記録〉

三田市：上本庄（幼虫2頭，14-II-1982），上青野（幼虫2頭，14-II-1982），小柿上（幼虫5頭，14-II-1982），小柿東（幼虫2頭，14-II-1982），布木（幼虫2頭，14-II-1982），末吉（幼虫8頭，14-II-1982），十倉（幼虫1頭，14-II-1982），下里（幼虫1頭，14-II-1982），波豆川（幼虫1頭，14-II-1982），下月瀬（幼虫1頭，14-II-1982），大磯（幼虫2頭，14-II-1982），沢谷（幼虫1頭，10-II-1982，広畑）。

宝塚市：上佐曾利（幼虫1頭，14-II-1982），波豆（幼虫2頭，14-II-1982），武田尾（幼虫1頭，II-1980，岡嶋秀紀）

神戸市：北区淡河町東畑（幼虫1頭，28-II-1982），同町中山（幼虫1頭，28-II-1982），同町西畑（幼虫2頭，28-II-1982），大沢町神付（幼虫3頭，28-II-1982），同町上大沢（幼虫2頭，28-II-1982），同町中大沢（幼虫1頭，28-II-1982），同町日西原（幼虫2頭，28-II-1982），道場町生野（幼虫1頭，10-I-1982，広畑），東灘区本山町岡本（成虫1頭，1962，青山潤三）。

美濃郡吉川町福井（幼虫2頭，10-II-1982，広畑）。

以上25の記録を報告したが、まだ充分な調査ができていないので、今回の調査で発見できなかったところでも、丹念に探せばまだまだ産地は見つかるものと思われる。

また、川西市、猪名川町、六甲山北部の有野町、山口町、有馬町などもまだ調査をしていないが、これらの地域からも発見できるものと考えている。

未筆ながら本種の採集記録を御提供下さった青山潤三、岡嶋秀紀の諸氏と三木市や三田市の状況に

ついて御教示下さった小倉滋，高橋邦明の諸氏にお礼申し上げます。

〈 参 考 文 献 〉

- 1) 岩村 巖・中谷貴寿(1964)西播の蝶分布資料(3), 兵庫生物 4(5): 288
- 2) 小倉 滋・高橋久夫(1978)三木市内の蝶について きべりはむし 6(1・2): 11
- 3) 加藤昌宏・武衛晴雄(1981)神戸市の蝶 神戸市立教育研究所 兵庫
- 4) 木下賢司(1979)床ノ尾山の蝶 IRATSUME (3): 29
- 5) 高橋 匡(1979)但馬地方昆虫目録 IRATSUME (3): 51
- 6) 田中利典(1969)六甲山・摩耶山の蝶 MAIMAI (1): 5
- 7) 丹波昆虫研究会(1957)丹波の蝶 丹波昆虫(3): 12
- 8) 日浦 勇(1969)日本列島の蝶 大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録第1集 大阪
- 9) 広畑政己・佐々木董(1982)兵庫県南西部に於けるミスジチョウの分布 ひろおび(6): 35-37
- 10) 広畑政己(1980)兵庫県に於ける蝶5種の新産地 てんとうむし(6): 30
- 11) 三木 進(1979)六甲山系(西部)の蝶 きべりはむし 7(1): 5
- 12) 山本広一(1971)兵庫県の蝶相 月刊むし(3): 8
- 13) 吉阪道雄(1948)ミスジチョウを我庭(御影町)で採集する MDKNEWS 1(2): 14
- 14) 吉田 豊(1981)三田市乙原地区の蝶 てんとうむし(7): 48

MASAMI HIROHATA 姫路市打越 1343-259

SHINICHI KONDO 神戸市垂水区岩岡町岩岡 619-57

兵庫県のジョウカイモドキ (兵庫県甲虫相資料・110)

高 橋 寿 郎

日本産のジョウカイモドキに関する総合的な研究は残念ながら現在見当らない。従って日本産のこの科のものがどれだけいるのかもよくわからない(中根博士によると概数30となっている, 1972。筆者が手許にある文献を基に目録を作製した所現在の日本産としては40種が数えられた)。

中根博士が"あきつ"誌上に発表になられた"クサジョウカイ類の概説"(5巻, 3号, 1956。6巻, 1号, 1957)並びに原色での22種の図説(原色昆虫大図鑑, 1963)によって兵庫県産